

# 英語科学習指導案

令和8年6月11日(木) 学習指導I 第5学年3組(5年3組教室) 指導者 齋藤 一紀  
Smith Gavin John

## 【単元】"Fun with Fuzoku Fantastic Friends!" (聞くこと ア, イ, 話すこと [発表] ウ)

| 考察                | 知識及び技能   | 思考力, 判断力, 表現力等   | 学びに向かう力, 人間性等  |
|-------------------|--|--|--|
| <b>育成を目指す資質能力</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>空想の友人について, 話したり, 聞いたりに際用いる英語の音声や文字, 語彙, 表現, 文構造, 言語の働き, 異文化についての知識</li> <li>空想の友人について, 聞く, 読む, 話す, 書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる基本的な技能</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>互いのことを分かり合うために, 空想の友人について想像し, 伝える内容を形成し, 英語表現の選択・組合せを行い, 伝える内容や事柄, 順番を整理した上で, 自分の考えや気持ちを分かりやすく伝える力</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>英語を用いて, 空想の友人について, 相手に分かりやすく伝わるように相手の理解を確かめながら話したり, 相手が話しやすいように共感的に受け止める反応をしながら聞いたりするなど, 主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度</li> </ul>                                    |
| <b>子どもの実態</b>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分自身のことを表現する英語表現, 自分の考えや気持ちを表す [主語+動詞+目的語], [It's+形容詞] の文構造を理解している。</li> <li>英語で自己紹介を発表する際に, 語彙, 表現, 文構造への不安から考えや気持ちを話すことに困難さがある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>"I like ~ ." "My favorite ○○ is ~ ." の英語表現の選択・組合せをし, 自分の趣味や好きなことなどを伝えることができるようになってきている。</li> <li>英語で自己紹介をする際に, 相手に分かりやすく伝わるように, 伝えたい内容を選んだり, 順番を決めたりすることに困難さがある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>A L Tや友達に伝わるように工夫しながら, 自分の趣味や好きなことを粘り強く繰り返し伝えようとしている。</li> <li>考えや気持ちを伝えることに集中してしまい, 相手の理解を確かめながら話したり, 反応をしながら聞いたりして, コミュニケーションを図ることに困難さがある。</li> </ul>       |
| <b>価値</b>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>本単元では, 空想の友人について友達と伝え合いながら考え, 留学生に紹介する。子どもたちは, 前単元で交流した留学生の思いや提案を聞き, 日本での生活をより楽しく過ごしてもらうためのアイデアを考える。「空想の友人(イマジナリーフレンド)」というアイデアを基に, 自らの想像力と, 交流して知り得た留学生の情報を統合しながら, 留学生に寄り添うイマジナリーフレンドを考え出していく。その過程で, 友達からの反応を得たり, 自分にはない考えに触れたりすることで, 英語を用いて考えを伝え合う楽しさを実感できる。そして, 自らの考えや気持ちが伝わった時に, 友達の共感的な反応を通して, 自分の考えや気持ちを受け止めてもらえた安心感や分かり合えた楽しさを実感できる。また, 空想の友人について, 留学生との交流会で伝える機会を設定することで, 留学生の役に立てた有効感, 異文化に対する理解を, 自らのコミュニケーションを通して深められたという実感を得られる。また, 留学生からの共感的な反応ややり取りから分かり合えたという達成感を得ることができる。このように, 本単元は, 互いの考えや気持ちを分かり合うことを通して, コミュニケーションを図る楽しさを実感する単元である。</li> <li>空想の友人について, 友達と留学生と伝え合うことは, 英語表現を繰り返し用いることになるため, 語彙, 表現, 文構造, 異文化への理解を深められる。</li> <li>子どもにとって身近な日常生活に関する語彙を活用するため, 相手の話の概要を捉えやすく, 考えや気持ちを話したり, 聞いたりする力を高められる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>空想の友人について, 友達や留学生と伝え合うことは, 自分が伝えたい内容や思いをもちやすく, 留学生の好みや悩みに応じて英語表現の選択・組合せを行い, 整理する必要があるため, 他者意識をもちながら自分の考えや気持ちを相手に分かりやすく伝える力を高められる。</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>空想の友人について, 友達や留学生と伝え合うことは, 互いの新たな一面に気付き, 考えや気持ちを分かり合おうとするため, 相手に伝わりやすいように理解を確かめながら話したり, 共感的に受け止める反応をしながら聞いたりするなど, 他者とコミュニケーションを進んで図ろうとする気持ちを高められる。</li> </ul> |
| <b>見方・考え方</b>     | <p>お互いのことを分かり合うために, 留学生が日本の生活をより楽しめるようにアイデアを伝えるという目的をもち, 友達や留学生に空想の友人について伝えるという場面において, 相手の興味・関心が異なる状況に応じて, 伝える内容や順番を整理したり, 工夫したりしながら伝え合うこと。</p>  |  |  |
| <b>今後の学習</b>      | <p>6学年「This is me!」の自己紹介をし合う場面において, "I can ~ ." 等の英語表現を用いて, 他者に身近な事柄を伝え合う学習へと発展していく。</p>   |  |  |

## 指導と評価の計画

|      |   |  |  |
|------|---|--|--|
| 目標   | 留学生により日本の生活を楽しく過ごしてもらえるように、空想の友人（イマジナリーフレンド）について、相手の発表したことに対して共感的に受け止める反応をしながら聞いたり、伝えたい内容や順番を整理したりした上で、相手に分かりやすく伝わるように工夫しながら発表することができる。   |  |  |
| 評価規準 | (①知・技) 空想の友人について、コミュニケーションを行う際に用いる英語の音声や文字、語彙、文構造、英語表現について理解している。<br>空想の友人について、コミュニケーションを行う際に用いる英語表現を用いて、話したり、聞いたりする技能を身に付けている。<br>(②思・判・表) 互いのことを分かり合うことができるように、空想の友人について、簡単な語句や基本的な英語表現を用いて、伝えたい内容を整理した上で伝えている。<br>(③主体的態度) 互いのことを分かり合うことができるように、空想の友人について、相手の発表したことに対して共感的に受け止める反応をしながら聞いたり、簡単な語句や基本的な英語表現を用いて、相手に分かりやすいように工夫して伝えたりしようとしている。 |  |  |
| 言語材料 | This is Peter. He is my friend. He can play soccer. He is great. Can he play the recorder? Yes, he can. /No, he can't.  |  |  |
| 過程   | 時間  | 学習活動   | 指導上の留意点<br>評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」   |
| つかむ  | 1   | ○留学生からの動画における提案内容を捉え、ALTとJTEのやり取りを見聞きし、試しの活動を行い、単元の課題(Unit Goal)をつかむ。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">Unit Goal</div> 留学生に楽しく過ごしてもらうために、イマジナリーフレンドを考えて、発表しよう | ○単元の見通しをもてるように、留学生からのメッセージ動画を留意し、試しの活動を行ったり、学習計画を考えたりする機会を設定する。<br>◇留学生からの動画における提案内容を捉え、ALTとJTEのやり取りを見聞きし、Unit Goalを基に、My Goalについて発言したり、記述したりしている。<br><発言・ワークシート③>   |
| 追究する | 4   | ○イマジナリーフレンドについて伝え合う際に用いる英語表現に慣れ親しみ、伝え合う。(本時4/4時間目)<br>1<br>○イマジナリーフレンドについて、発表に必要なスライド資料を作成し、整理した英語表現を用いて、伝え合う。   | ○三人称(he, she)を表す英語表現の音声の特徴に気付けるように、モデル動画の音声を聞いたり、発音したりする機会を設定する。<br>○自分の伝えたい考え(できること、尋ねたいこと)と英語表現とが結び付くように、英語表現を一覧にした資料を用意する。<br>○内容や英語表現、伝え方を工夫したり、改善したりできるように、動画を撮ったり、見合ったりする場や機会を設定する。<br>○発表する留学生のことを想起し、相手の好みや思いに応じた発表ができるように、前単元の交流会の写真や留学生に関する資料を用意する。<br>○発表に必要な資料を作成したり、伝え方や英語表現を整理したりできるように、相互評価できる機会を設定する。  |
| まとめる | 1   | ○自ら考えたイマジナリーフレンドを留学生に伝えられるように、学級で発表会を行う。<br>1<br>○留学生との交流会において、イマジナリーフレンドを発表し、自らの考えや気持ちを伝え合う。  | ○学級全体が発表内容を理解できるように、発表に使用する資料を見ることが出来る機器を用意する。<br>○留学生の好みや思いに応じて寄り添いながら伝えられるように、これまでの学習で発音した英語表現について振り返る機会を設定する。<br>◇イマジナリーフレンドについて、英語表現を用いて発表している。<br>◇イマジナリーフレンドについて、英語表現を用いて話したり、聞いたりしている。<br>◇イマジナリーフレンドについて、伝え方を工夫・改善しながら、英語表現を整理して話したり、聞いたりしている。<br>◇イマジナリーフレンドについて、作成した発表資料を用いて、話したり、聞いたりしている。<br>◇イマジナリーフレンドについて、英語表現を用いて発表している。<br>◇留学生との交流で、イマジナリーフレンドについて話したり、聞いたりしている。<br><行動・ワークシート①②③> |

**本時の学習（5／8時間目）**

ねらい 英語表現を用いて、イマジナリーフレンドのできることを、性格や様子を伝え合うことを通して、伝え方を工夫・改善し、英語表現を整理することができる。

評価規準 イマジナリーフレンドについて、伝え方を工夫・改善しながら、英語表現を整理して話したり、聞いたりしている。 <行動①②③>

| 学習活動と子どもの意識   | 指導上の留意点   |
|---|---|
| <p><b>1 My Goal をつかむ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だんだんとイマジナリーフレンドの説明ができるようになってきたのだったな。留学生に寄り添うイマジナリーフレンドにするために、自分の考えをもっと工夫して説明して、分かってもらいたいな。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イマジナリーフレンドの説明ができるようになってきたと思ったけれど、さらに説明を付け加えたり、分かりやすく伝えられたりするようになりたいな。 (目的意識)</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>My Goal:</b> 留学生が楽しめるように、友達とたくさん練習する場で、イマジナリーフレンドを説明する英語を工夫して、もっとはっきりした言い方で伝えられるようになろう</p> </div>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○イマジナリーフレンドについて留学生のために考えて、伝え合うという思いを高められるように、交流会の様子を撮った写真を提示し、単元の課題 (Unit Goal) を改めて全体で共有する。</li> <li>○伝え方の工夫や英語表現の改善の必要性に気付けるように、前時に撮った動画や前単元での交流会の会話内容、メモを見るよう促し、伝える際のポイントや現状の課題を問いかける。</li> <li>○本時における自らの目標 (My Goal) を設定できるように、前時に撮った動画や振り返りの記述を見て気付いたこと、前時にできるようになったことや課題、本時に必要な学び方を問いかける。</li> </ul>  |
| <p><b>2 イマジナリーフレンドについて、伝え合い、伝え方を工夫・改善する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の振り返りを見ると、スラスラ言えるようになったけれど、声が小さくははっきり言えずに、相手に伝わりづらいところもあったな。留学生は赤い色が好きと言っていたから、内容も少し見直した方がいいかな。まずは、友達と伝え合いながら改善していこうかな。</li> <li>・留学生の好きな色とイマジナリーフレンドの性格を付け加えられたぞ。伝えたいことを最初に言うようにするとよさそうだ。はっきりと大きな声で伝えられるように、友達と練習してアドバイスをもらいたいな。</li> <li>・友達は、特徴を強調したり、確かめたりして話していて、分かりやすかったな。留学生がイマジナリーフレンドのことを想像できるように、伝え方を工夫してみようかな。友達が言っていたように、"He is kind." の "kind" の部分を強く言えば、「優しい性格」というよさをもっと伝えられそうだな。</li> <li>・いろいろな学ぶ場所へ行ってたくさん話せたな。そして、友達と何回も伝え合ったから、イマジナリーフレンドについて、伝えたい内容も工夫できたし、はっきりと大きな声で堂々と伝えられるようになってきたぞ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が考えた英語の内容を見直して、はっきり伝える部分を意識して練習したら、分かりやすく伝えられるようになったぞ。友達のお考えもたくさん知れたし、楽しかったな。 (目的を達成した意識)</li> </ul> </div> <p><b>3 本時の学習の振り返りをする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画を見ると、友達とたくさん話したことで、前回より相手のことを考えて、はっきりと言えるようになったと思うな。次はみんなの前で発表したり、聞いたりするのが楽しみだな。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○My Goal に応じた学びを選択できるように、モデル音声を聞いたり、友達と伝え合ったり、録画したりするといった学び方を共有したり、提示したりし、活用の仕方を問いかける。</li> <li>○伝える順番や内容を変えると、相手により分かりやすく伝えられることに気付けるように、英語表現を整理し、工夫・改善している子どもを紹介し、そのよさを問いかける。</li> <li>○言葉の抑揚や強弱、間の取り方と言った伝え方を工夫・改善できるように、意識していることや取り組んでいることを問いかけ、My Goal に応じた学び方ができていることやその取組のよさを称賛し、全体に伝える。</li> <li>○友達の伝え方や英語表現のよさに気付けるように、相手を替えて繰り返し伝え合う場やペアになって助言し合う場を設定し、伝え方について工夫した点や、新たに気付いた友達のよさを問いかける。</li> <li>○伝え方や伝える内容を工夫することが、相手に寄り添った発表につながることを実感できるように、動画を録画・視聴したり、新たに追加した英語表現や、変化の様子を友達に尋ねたりするよう促す。</li> </ul> <p>○自分の学び方を通して本時における My Goal を達成したことを感じられるように、録画した動画や友達からのコメントを基に、成果や課題、友達の伝え方のよさについてワークシートに記述するように促す。</p> |